

織田信長の命を受け、丹波攻めに従事中の明智光秀が亀岡盆地の中心に天正6年に築城したと思われる総構えの城である。

本能寺の変の前に、城に入ったと伝えられている。

その後、豊臣政権下でも重要視し、豊臣一門、五奉行の一人が城主となっている。

江戸時代に入っても重要視され、天下普請により藤堂高虎が縄張りを勤め、慶長15年本丸に五重の層塔型天主が作られた。

天守は、亀岡城を買い取った大本教への弾圧により破壊されたと思われ、戦後大本教により復興されている。

遺構としては、残っている部分は少ない。所有者である大本教信者によって、された部分がある。

城下町には、遺構と思われるものも残っているが少ない。

亀岡市として、明治時代に入るまで多くの城主が排出されているが、主人公は明智光秀となっている。

見学は一班2名のガイドで、城下町を巡り、大本教が作成の亀岡城のビデオを見て、場内の復興された遺構を見学した。

亀岡市は、亀岡光秀祭を開催することもあり、関係自治体と協力して、光秀が主人公となるNHK大河ドラマの実現にこぎつけた。

コロナの影響があったものの長谷川博巳が主人公となり、今まで悪役であった明智光秀のイメージが好印象となった。(ただ家康どうするの光秀は…)

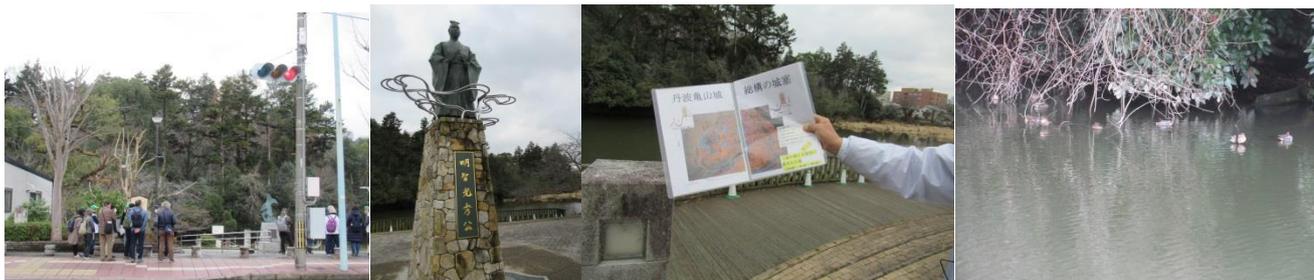
ただ、必死の活動であったが、残念ながら最後までドラマ最後の紀行語りで亀岡の紹介は無かった。



○保津川下りをイメージJR亀岡駅、駅でのガイド説明、ONCCの旗を持つCA小田さん



○亀岡城跡内堀から外観、明智光秀像、ガイド資料、内堀跡の鴨



○丹波亀岡城門跡、ガイドの資料を持つ説明

遠くにこぶのある愛宕山



○涌き水の古世親水公園、形原神社 7



○大本教内 復興した城跡、内堀、天守閣跡



以上です。ありがとうございました。